

目 次

巻頭言	新しい生活様式にも対応したかわりを	公益社団法人宮城県精神保健福祉協会 会長 高 階 憲 之
ご挨拶	災害後の心のケア活動の新たな展開に向けて	みやぎ心のケアセンター 前センター長 白 澤 英 勝
ご挨拶	公式活動記録発刊にあたって	みやぎ心のケアセンター センター長 小 高 晃

第Ⅰ章 復興までの道のり	1
1. 被災の概要	
2. 国および宮城県の復興計画	地域支援部 部長 岡 本 咲 子
3. 支援活動年表	基幹センター地域支援課 課長 大 場 幸 江
4. 応急仮設住宅等入居者健康調査の変遷	

第Ⅱ章 当センターを立ち上げるまで	11
1. 災害メンタルヘルスの歴史と『こころのケアセンター』	
2. 『みやぎ心のケアセンター』設立までの経緯	
3. 準備としての視察	
4. 初期の組織づくり	副センター長 福 地 成 一
5. 研究機関との協力	企画研究部 部長 渡 部 裕
6. 外部機関からの受け入れ・コーディネート	
7. 主な届出	

第Ⅲ章 全体の事業展開について	17
1. 組織運営	
2. システム開発	基幹センター企画研究課
3. 他県との連携	課長 鎌 田 直 人
4. 人材育成	課長補佐 三 浦 由希乃
5. 普及啓発	課長補佐 久保田 美代子
6. みやぎ心のケアフォーラム	

第Ⅳ章 業務統計報告 – 事業項目別の経年活動報告 –	37
1. 地域住民支援	
2. 支援者支援	基幹センター企画研究課
3. 普及啓発	課長 鎌 田 直 人
4. 人材育成	課長補佐 三 浦 由希乃
5. 子どもの心のケア地域拠点事業	課長補佐 久保田 美代子

第Ⅴ章 地域センターごとの活動報告	47
1. 基幹センター地域支援課の活動報告	基幹センター地域支援課 課長 大 場 幸 江 課長補佐 大 森 谷 郁 子
2. 石巻地域センターの活動報告	石巻地域センター 課長 岡 崎 茂 子 課長補佐 佐 藤 純
3. 気仙沼地域センターの活動報告	気仙沼地域センター 課長 片 柳 光 昭 課長補佐 荒 井 祐 子

第Ⅵ章 調査研究報告および他誌掲載原稿	79
1. 東日本大震災後の被災自治体職員の健康状態に関する調査	東北大学大学院医学系研究科 予防精神医学寄附講座
2. 宮城県内の被災自治体の社会福祉協議会における健康調査	東北大学大学院医学系研究科 予防精神医学寄附講座
3. サイコロジカル・リカバリー・スキル	東北大学大学院医学系研究科 予防精神医学寄附講座
4. 多賀城市における東日本大震災被災者支援活動の報告 ～複数機関・多職種の支援者間連携について～	みやぎ心のケアセンター 大泉 みのり、大場 幸江、福地 成
5. 被災地の親子を対象としたキャンプ事業	みやぎ心のケアセンター 福地 成、内田 朋子、千葉 柊作
6. 東日本大震災後に誕生した子どもとその家庭への縦断的 支援研究	みやぎ心のケアセンター 福地 成、丹野 孝雄、千葉 柊作
7. 被災地におけるサロン活動の意義と課題 ～福島県外避難者を対象としたサロン活動の経過から～	みやぎ心のケアセンター 渡部 裕一、大場 幸江、 大泉 みのり、樋口 徹郎
8. 東日本大震災被災地域における学校教育と精神保健医療 福祉との連携の実践	片柳 光昭、高橋 祥恵、橋本 佳純 木村 莊子、守屋 佑亮、横山 志帆 高橋 和成、遠藤 眞、松浦 雄介 齋藤 里砂、栃木 芳将、菅野 翼 菅野 優、村上 瑞恵、小野かおり 永沼 直子、高橋 智美、相澤 理沙 高橋 茉央
9. 被災地の子ども達のこころの現状	福地 成、林 みづ穂
10. 震災が養育環境に与えたもの	福地 成
11. こころのケアを再考する	福地 成
12. 5 Years after the 2011 Tohoku Earthquake and Tsunami	Naru Fukuchi
13. 公衆衛生としての災害精神医学 —みちのくこどもコホートからみえること—	福地 成
14. 新聞記事など	

第Ⅶ章 寄稿	209
寄稿 前人未踏の10年間	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 所長 金 吉 晴
寄稿 葛藤から成熟、そして転換へ ：外部から見たみやぎ心のケアセンターの歩み	兵庫県こころのケアセンター センター長 加 藤 寛

資料	213
資料1 市区町村別人口の推移	
資料2 応急仮設住宅・災害公営住宅の戸数の推移	
資料3 宮城県における自殺者数及び自殺死亡率の推移	
資料4 宮城県の健康調査の結果の推移	
資料5 応急仮設住宅等（プレハブ・民間賃貸借上住宅）入居者健康調査票	

結びのことば	223
結びのことば	公式活動記録作成委員会委員長 副センター長 福 地 成